

くろかわ感染症情報

参考：厚生労働省、国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト

特に夏に
注意！

今回のテーマは 腸管出血性大腸菌感染症

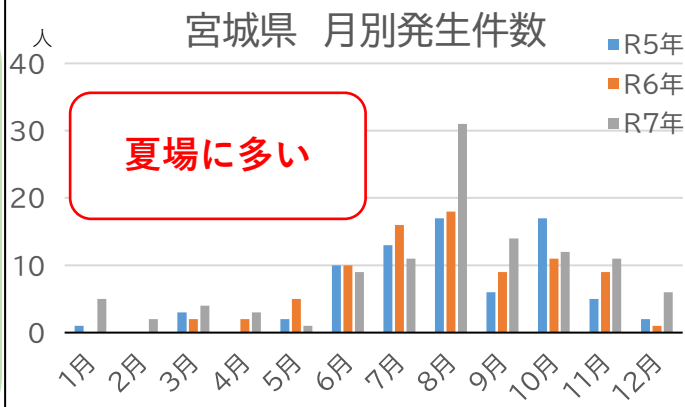
腸管出血性大腸菌感染症とは？

大腸菌は人や家畜の腸内にも存在し、ほとんどは無害だが、一部、毒素を出し、腹痛や下痢、血便等を起こすものがある。重症化すると溶血性尿毒症症候群（貧血、尿が減る・出なくなる）や脳症を引き起こし重症化こともあり、注意が必要。

- ◆症状：下痢、血便、激しい腹痛。
- ◆潜伏期間：2～5日（最大12日）



いつ起こりやすいの？



出典：宮城県保健環境センター

どうやってうつるの？

- ①菌に汚染された食品や水を介してうつる（食中毒）。
- ②菌に汚染された手を介してうつる。

どこからうつるの？

加熱不十分な牛肉からの感染が多いが、野菜、井戸水等、様々な食品や食材から見つかっている。

予防方法は？

手洗いと食品の洗浄や加熱等、衛生的な取り扱いが大切です！

①菌をつけない ～しっかり洗う～



調理の前にはしっかり手を洗い、まな板や包丁などの器具も使用の都度、清潔を保つこと。

②菌を増やさない ～低温で保存～



食べ物に付着した菌を増やさないために、低温で保存すること。早めに食べる。

③菌をやっつける ～しっかり加熱！～



ほとんどの細菌は加熱によって死滅する。**食品の中心部まで75度1分以上しっかり加熱すること。**

感染したかな？と思ったら

- ・症状がある際には**早めに受診**する。
- ・トイレの取っ手やドアノブ、レバー等、菌で汚染されやすい場所を消毒用アルコール、次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。
- ・患者はできるだけ浴槽につからず、シャワーにする。
- ・風呂水は毎日替える。
- ・タオルを共有しない。
- ・人から人への感染を予防する基本は「**手洗い**」です。



詳しくは厚生労働省
ホームページを
ご覧ください



2026年7月7日発行

●御意見・御質問などは塩釜保健所黒川支所までお願いいたします。電話：022-358-1111 FAX：022-358-1110

●この情報は、宮城県仙台保健福祉事務所黒川支所（塩釜保健所黒川支所）HP（<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sh-helth-k/index.html>）にも掲載しております。もっと詳しく知りたい場合は、宮城県公式HP（<https://www.pref.miyagi.jp/>）、厚生労働省HP（<https://www.mhlw.go.jp>）をご覧ください。